

こうすいひなんち

かみのやまし

上山市

洪水避難地図

洪水ハザードマップ

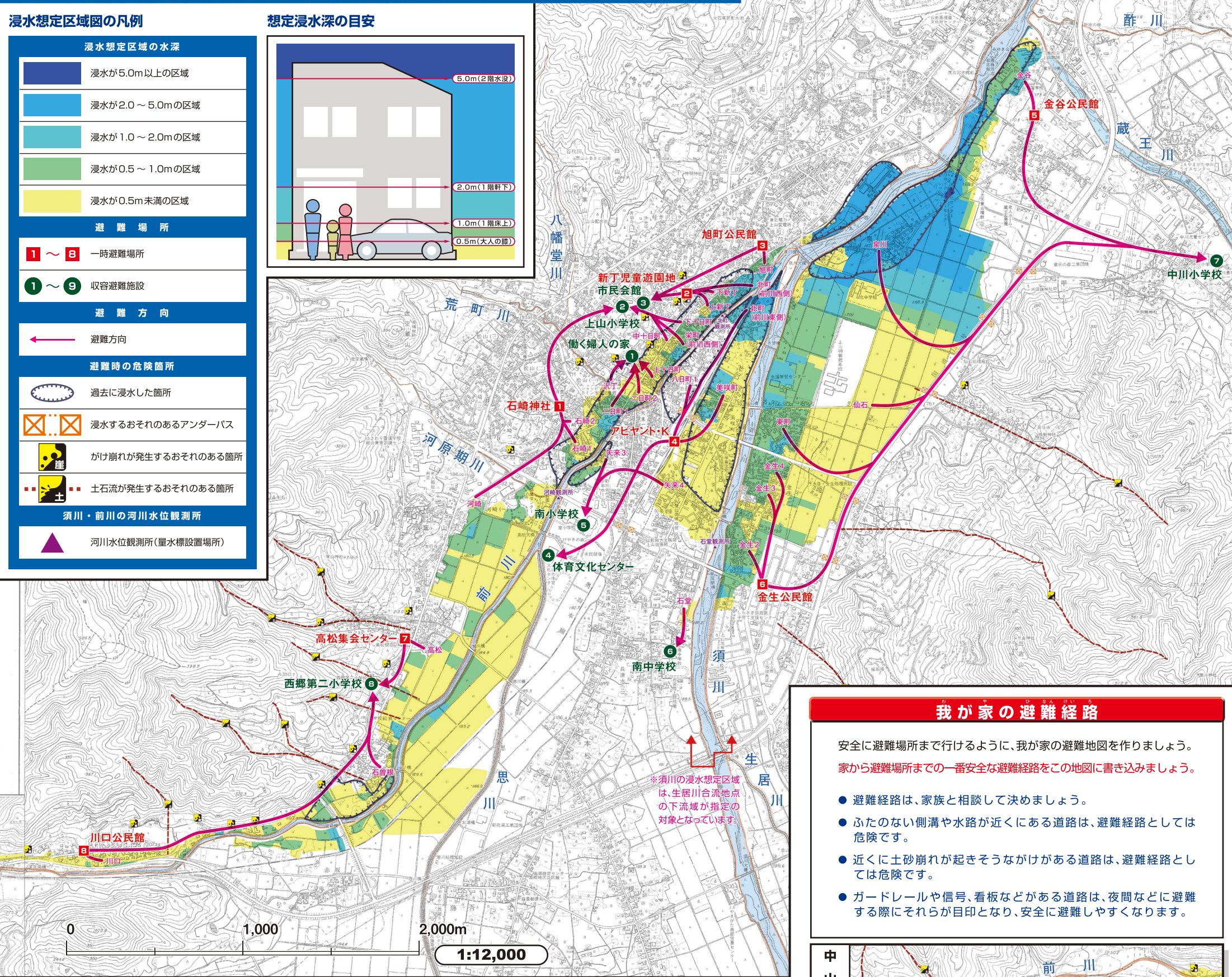
上山市洪水避難地図(洪水ハザードマップ)は、須川、前川の河川が大雨によって増水して、堤防の決壊や越水が発生した場合に予想される浸水想定区域や浸水深、避難場所などを示した地図です。

浸水区域と浸水深は、河川管理者が算定したものであり、須川については100年に1回程度、前川については40年に1回程度の大雨が降った場合を想定しています。

河川がはん濫するおそれがある場合は、市から避難勧告や避難指示が出されますので、指示に従い速やかに指定された避難場所に避難してください。

ご自身で危険と感じた場合は、避難勧告が出される前でも避難を始めてください。

地図に示した浸水想定区域以外でも、浸水が発生するおそれがありますので注意してください。過去に浸水した箇所は特に注意が必要です。



上山市洪水避難地図

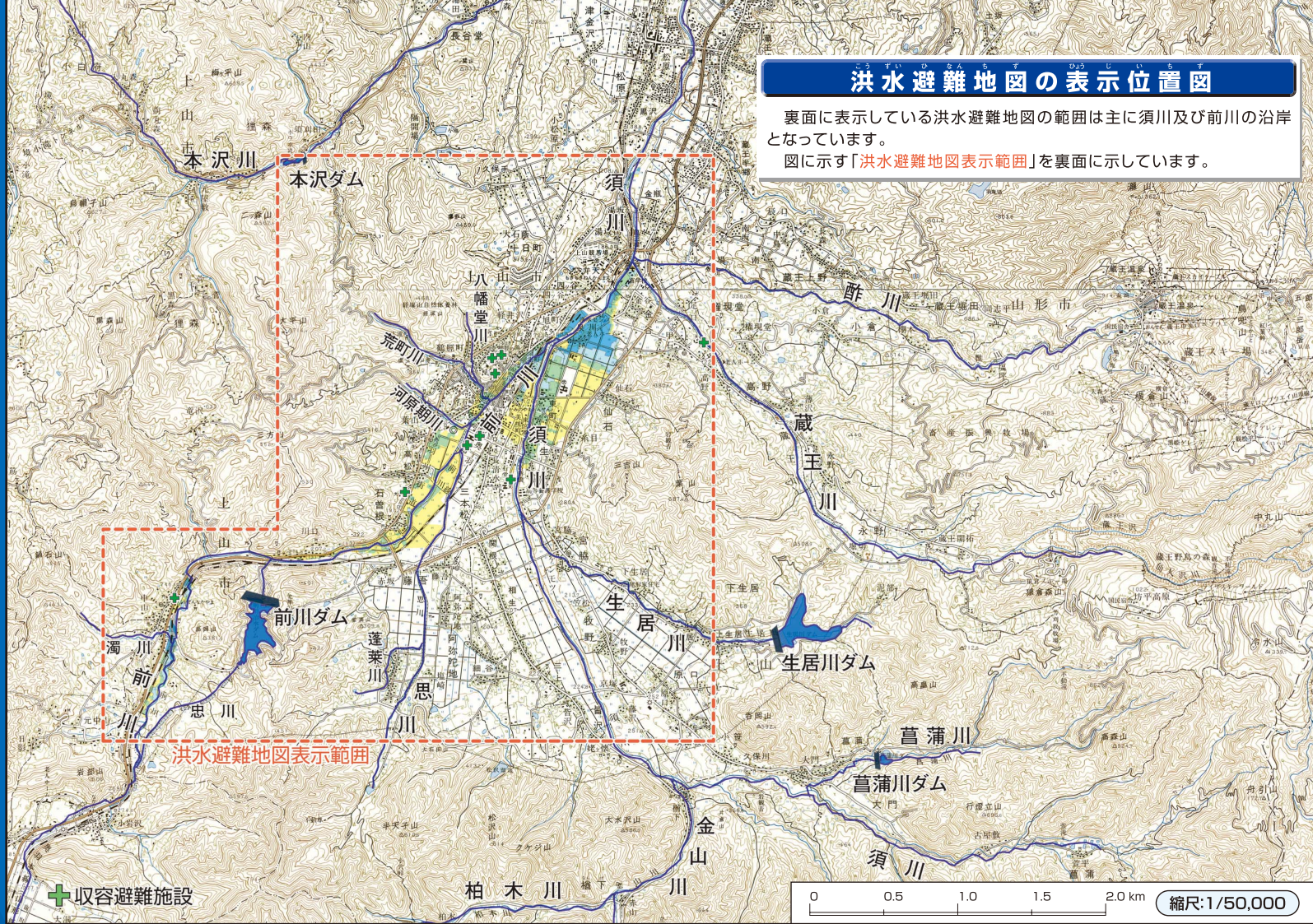
洪水ハザードマップ



昭和42年 8月28日、29日に
発生した羽越水害時の様子



平成19年3月
上山市



洪水避難地図の表示位置図

裏面に表示している洪水避難地図の範囲は主に須川及び前川の沿岸となっています。
図に示す「洪水避難地図表示範囲」を裏面に示しています。

緊急時の連絡先

名 称	所 在 地	電話番号
警察 (上山警察署)	上山市矢来三丁目 7-50	110 (023-677-0110)
消防・救急 (上山市消防本部)	上山市石崎一丁目 7-46	119 (023-672-1190)
上山市災害対策本部	上山市河崎一丁目 1-10	023-672-1111
国土交通省山形河川国道事務所	山形市成沢西四丁目 3-55	023-688-8421
山形県村山総合支庁	山形市鉄砲町二丁目 19-68	023-621-8100

◆ ライフライン

名 称	所 在 地	電話番号
東北電力 (株) 山形営業所	山形市本町二丁目 1-6	023-641-1311
NTT 東日本山形支店	山形市薬師町二丁目 18-1	023-621-9181
JR 東日本テレフォンセンター		050-2016-1602
上山郵便局	上山市八日町 1-5	023-672-0191
上山市役所 (水道・下水道・道路)	上山市河崎一丁目 1-10	023-672-1111

◆ 病院

名 称	所 在 地	電話番号
二本松会上山病院	上山市金谷字下河原 1370	023-672-2511
みゆき会病院	上山市弁天二丁目 2-11	023-672-8282

※ 医院については、我が家の防災メモに「かかりつけの医院」を書き込んでください。

災害時の「声」と「文字」の伝言板

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れないことが多くあります。そのような時は、以下の「声の伝言板」「文字の伝言板」を利用することでメッセージを伝えることができます。

災害時の声の伝言板 171 NTT 災害用伝言ダイヤル

電話の混雑時には171をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数 (最大10件) など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法	再生方法
171 → 1 → 023 → 自宅の電話番号 案内放送が流れます。	171 → 2 → 023 → 自宅の電話番号 案内放送が流れます。

※ 災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話、PHSからも利用できます。

災害時の文字の伝言板 携帯電話「災害用伝言板」

大規模な災害が発生した場合、NTT ドコモの「MODE」、auの「EZ web」、ソフトバンクの「Yahoo!ケータイ」のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になります。登録された伝言は、インターネット接続が可能なパソコンや他社の携帯・PHSからも下記のURLで参照できます。

	http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
	http://dengon.ezweb.ne.jp/
	http://dengon.softbank.ne.jp/

我が家の防災メモ

我が家の避難場所	
家族が離ればなれになったときの集合場所	
災害時の緊急連絡先	

名 前	生年月日	血液型	会社・学校	携帯電話／メールアドレス
	M・T S・H 年 月 日	型		携帯 メールアドレス
	M・T S・H 年 月 日	型		携帯 メールアドレス
	M・T S・H 年 月 日	型		携帯 メールアドレス
	M・T S・H 年 月 日	型		携帯 メールアドレス
	M・T S・H 年 月 日	型		携帯 メールアドレス
	M・T S・H 年 月 日	型		携帯 メールアドレス

かかりつけの医院	
----------	--

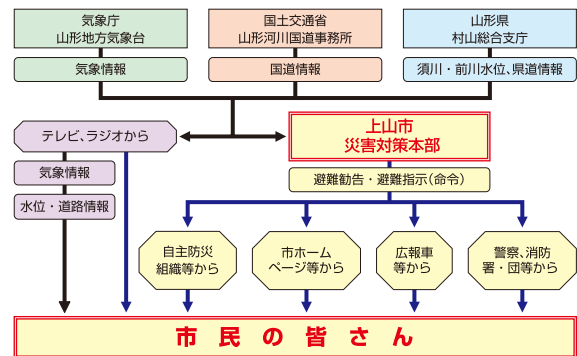
避難情報の種類

市は次のような避難情報を発令します。

種 類	呼びかけの内容	とるべき行動
避難準備	〇〇地区のみなさん！ 大雨により〇〇川が増水し、危険な状態です。いつでも避難できるように準備してください。	避難の準備を整え、テレビやラジオの放送、市からの広報に注意を払ってください。お年寄りや子供は、この段階で早めに避難させましょう。
避難勧告	〇〇地区のみなさん！ 〇〇川が氾濫するおそれがあります。速やかに避難を始めてください。	お互いに助け合って、指定された避難所に速やかに避難を始めましょう。
避難指示 (命 令)	〇〇地区のみなさん！ 〇〇川が氾濫し、家屋に浸水する危険性があります。ただちに避難をしてください。	危険が間近に迫っています。一刻も早く避難所へ避難してください。

避難情報等の伝達経路

避難情報等は次のとおり伝達されます。



須川・前川の水位情報

インターネットから須川と前川の水位情報等が入手できます。
上山市には水位観測所が4箇所あり、それぞれの観測所に避難の目安となる水位やはん濫のおそれがある水位などが定められています。市では、これらの水位情報を判断基準のひとつとして避難情報を発令します。

山形県河川・砂防情報システム

ホームページアドレス <http://dww.pref.yamagata.jp/kasen/>
携帯電話アドレス <http://dww.pref.yamagata.jp/kasen/h/>

河 川 名	水位観測所名 (所在地)
須 川	橋下 (橋下)、石堂 (石堂)
前 川	河崎 (長清水)、北町 (北町)

大雨・洪水注意報及び警報の発令基準

上山市内は、次の基準のいずれかになると予想される場合に大雨や洪水に関する注意報、警報が発令されます。

	大雨注意報	洪水注意報	大雨警報	洪水警報
1時間雨量	40mm以上	40mm以上	60mm以上	60mm以上
3時間雨量	60mm以上	60mm以上	100mm以上	100mm以上
24時間雨量	平地：90mm以上 山地：150mm以上	平地：110mm以上 山地：170mm以上	平地：180mm以上 山地：220mm以上	平地：190mm以上 山地：220mm以上

非常時持ち出し品の準備リスト

避難するときの荷物は必要最小限とし、日ごろから準備しておきましょう。
また、食料品等は最低3日分は備蓄しておきましょう。

懐中電灯・ろうそく 予備の電池、マッチ、ライター等も忘れずに準備しましょう。 万一、逃げ遅れた場合に自分たちのいる場所を知らせるための発煙筒やホイッスルなども有効です。	救急箱・常備薬 バンソウコウや消毒剤など、まとめてすぐ持ち出せるように用意しておきましょう。 病気の方の薬や赤ちゃんがいる場合のミルクなども忘れずに。
衣類 下着類 赤ちゃんがいる場合は、紙おむつも忘れずに。	携帯ラジオ NHK第1-540kHz ※各局の周波数 NHK第2-1512kHz YBC-918kHz 気象情報や災害情報などを聞くために準備しましょう。予備の電池も忘れずに。
現金・貴重品 保険証、通帳、お金などの貴重品類は、いざというときにすぐ持ち出せるよう保管場所を決めておきましょう。	非常食・飲料水 3日分程度備蓄しておきましょう。 水は1人1日3リットル必要です。
携帯電話等 連絡のやり取り、情報収集に便利です。充電器も用意しておきましょう。	洪水避難地図 普段からよく見ておき、わかりやすい場所におきましょう。

ダム情報

ダムは、大雨時の洪水調節や農地のかんがいのために作られています。

河川名	ダム名	所在地	用途	管理者	電話番号
前 川	前川ダム	川 口	治水、維持用水	村山総合支庁山形統合ダム管理課 前川ダム管理所	023-673-3331
菖蒲川	菖蒲川ダム	菖 蒲	かんがい	上山市土地改良区 菖蒲川管理事務所	023-674-3265
生居川	生居川ダム	上生居	かんがい	上山市土地改良区 生居川管理事務所	023-674-3532

※ 前川ダムは、流れてきた水を貯め、洪水にならないよう調節を行います。状況により放流することもあります。
※ 菖蒲川ダム、生居川ダムは、かんがいを目的として建設されており、一定の水位を超えると、流れてきた水と同じ量を放流します。放流する際は、1時間前に広報し、5分前にサイレンが鳴らされます。

避難の際の心得

正確な情報を確認しましょう 大雨・洪水・台風などの状況を、テレビやラジオ、インターネットで確認しましょう。 また、市の広報車や警察・消防からの呼びかけにも注意を払ってください。	避難を始める前に 避難を始める前に、避難場所を確認し、万一家族が離ればなれになったときの集合場所を決めましょう。 また、親戚の家など指定された避難場所以外の場所に避難する場合は、地区会長さんやご近所の方に一言連絡しましょう。
早めに避難しましょう 広報車からの避難指示の呼びかけが始まる前でも、雨の状態から洪水の危険を感じたら、自主的に早めに避難しましょう。 車での避難は、交通渋滞や緊急車の妨げになるため、極力徒歩で避難しましょう。 アンダーパスの道路や増水した川にかかる橋の通行は避けましょう。	安全に避難するために 避難するときは、動きやすい服装で、長靴よりもひもでしめられる運動靴が最適です。ヘルメット、軍手を着用するとより安全です。 浸水している場所では、側溝や水路など深みの危険がありますので、長い棒で安全を確認しながら歩きましょう。また、一人での避難は危険ですから複数で行動しましょう。
災害時要援護者をみんなで守りましょう 高齢者や体の不自由な方など、自力で避難することが困難な災害時要援護者は、近隣者や自主防災会が協力して避難させ、みんなで守りましょう。	避難が遅れてしまったら 浸水した場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmです。ただし、傾斜のある場所はこれより浅くても危険です。 避難が遅れて浸水してしまった場合は、建物の2階や屋根などの高い場所に移動し、落ち着いて救助を待ちましょう。

雨の降り方の目安

天気予報などでよく耳にする「1時間に〇〇mmの雨」は体感するとどれくらいか知っておき、早めの避難を心がけるようにしましょう。

やや強い雨 1時間に10～20mmの雨	強い雨 1時間に20～30mmの雨	激しい雨 1時間に30～50mmの雨	非常に激しい雨 1時間に50～80mmの雨	猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。	傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。	バケツをひっくり返したような雨です。	溝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。